

14A 戦闘序列 (十六年十一月六日)

第十四軍司令官 陸軍中將 本間 雅晴

✓ 第十四軍司令部

✓ 第十六師團

✓ 第四十八師團

✓ 第六十五旅團

✓ 獨立速射砲第三、第八、第九、第一〇中隊

✓ 戰車第四聯隊、戰車第七聯隊

✓ 野戰重砲兵第一聯隊 (甲)

✓ 野戰重砲兵第八聯隊 (乙)

✓ 獨立臼砲第十五大隊

✓ 獨立重砲兵第九大隊 (戊)

✓ 野戰高射砲第四五、第四七、第四八大隊

✓ 野戰高射砲第三〇、第三一中隊

✓ 獨立工兵第三聯隊 (甲)

下
R
?

秋山作業用

0878

- ✓ 獨立工兵第二聯隊 (戊)
- ✓ 獨立工兵第三中隊 (重渡河)
- ✓ 第十四軍鐵道隊 (附表第一)
- ✓ 第十四軍通信隊 (附表第二)
- ✓ 架橋材料第二六、第二八中隊
- ✓ 渡河材料第一三、第一四中隊
- ✓ 第一野戰憲兵隊
- 第十四軍直屬兵站部隊 (附表第三)

0879

附表第一

第十四軍鐵道隊編成

長鐵道第六聯隊長

✓鐵道第六聯隊（一大隊及材料廠の一部缺）

✓第一三二、第一三三、停車場司令部乙

附表第二

第十四軍通信隊編成

長電信第二聯隊長

✓電信第二聯隊

✓獨立無線第五、第五一、第五二、第五三、第五四小隊

✓第四〇、第四一、第四三、第四四固定無線隊

附表第三

第十四軍直屬兵站關係部隊

0880

✓ 第六一兵站地區隊
 ✓ 第六三兵站地區隊
 第三野戰輸送隊
 第三野戰輸送司令部
 ✓ 第三野戰輸送司令部
 ✓ 獨立自動車第三八、第六一、第六三大隊
 獨立自動車第二〇九、第二〇〇、第二五八、第二五九、
 第二六〇中隊
 ✓ 獨立輜重兵第五一中隊
 ✓ 第三八、第三九野戰道路隊
 ✓ 野戰作井第六中隊
 ✓ 第十二野戰勤務隊
 第十二野戰勤務隊長
 ✓ 第十二野戰勤務隊本部
 陸上勤務第一一〇、第一二四中隊

0881

水上勤務第六〇中隊

建築勤務第三六、第三七中隊

✓第十六野戰郵便隊

第十七兵站衛生隊

第十七兵站衛生隊長

✓第十七兵站衛生隊本部

✓第七五、第七六、第九六、第一〇〇兵站病院

第十患者輸送隊

第十患者輸送隊長

✓第十患者輸送隊本部

✓患者輸送第三八、第五三、第五四小隊

✓第八防疫給水部

✓第二五野戰防疫給水部

第十六兵站病院廠

第十七車馬防疫廠

0882

✓	✓	✓
同	同	第
		二
		十
		二
野	野	野
戦	戦	戦
貨	自	兵
物	動	器
廠	車	廠
	廠	

0883

14/1

第四十八師團を第十四軍戦闘序列より除き第十六軍戦闘序列に編入す

29/1

左記部隊を第十四軍戦闘序列に編入す

○ 獨立重砲兵第二中隊(甲)

○ 第十四軍戦闘序列より除き第十六軍戦闘序列に編入する部隊

獨立速射砲第八、第一〇中隊

戰車第四聯隊

野戰高射砲第四五、第四八大隊(乙)

獨立野戰高射砲第三〇、第三一中隊

獨立重兵第三聯隊(甲)(駄)

鐵道第六聯隊の一大隊及材料廠の一部

獨立無線第五、第五一、第五二小隊(自)

第四〇固定無線隊

第二六架橋材料中隊

第一三、第一四渡河材料中隊

獨立自動車第二〇九、第二五八、第二五九中隊

0884

患者輸送第三八小隊

第八防疫給水部

31/1 左記部隊を第二十五軍戦闘序列より除き第十四軍戦闘序列に編入

✓ 獨立山砲兵第三聯隊

✓ 重砲兵第一聯隊(甲)

✓ 第三牽引自動車隊

指揮轉移の時機は二月二日○○○

10/2 第四師團を第十四軍戦闘序列に編入す

16/2 別紙第一の部隊を夫々南方軍及第十四軍、第十五軍、第十六軍、

戦闘序列及第四師團長の隷下に人らしむ

一

三 第十四軍戦闘序列に編入する部隊

✓ 第十獨立守備隊

✓ 第二固定通信隊

三

0885

四

五 第四師團長の隷下に入る部隊

第四師團防疫給水部

11/3

一 別紙の部隊を第十六軍、第二十五軍戦闘序列より除き第十四軍戦闘序列に

二 左記部隊を第二十三軍戦闘序列より除き第十四軍戦闘序列に編入

✓ 第一砲兵司令部、砲兵情報第五聯隊

三 左記部隊を第十四軍戦闘序列より除き第十六軍戦闘序列

第百兵站病院

四

五 隷屬轉移の時機は第一第三項の部隊は三月二〇日〇〇〇〇第二

第四項部隊は南支那港灣出發の時

0886

別紙

第十四軍戦闘序列に編入する部隊

第十六軍より除く部隊

第一一六兵站病院

第二十五軍より除く部隊

✓ 獨立田砲第二、第一四大隊

20/31

三 第二二飛行團編成を令し且之を南方軍戦闘序列中の直屬航空隊
係部隊に編入す

南方軍戦闘序列より除き備洲に在り關東軍司令官の隷下に入る部
隊

第十五獨立飛行隊

第十五飛行隊本部、獨立飛行第五〇中隊（司）、獨立飛行第五
一中隊（司）、獨立飛行第五五中隊（司）

0887

教導飛行第二〇四戰隊（戦）

飛行第六〇戰隊（重）

第二六飛行場大隊（司）、教導第二〇九飛行場大隊、第三〇一飛行場大隊

教導第三飛行場中隊

第一航空情報隊の一部、第二航空情報隊の一部
陸上勤務第七〇中隊

21/4 左の部隊を南方軍戦闘序列中の直屬航空關係部隊より除き支那

派遣軍總司令官の隷下に入らしむ

飛行第六二戰隊（重）

飛行第九十戰隊（輕）

第九一飛行場大隊

三省 略

2/5 左の部隊を南方軍戦闘序列中の第二二飛行團の編成に入らしむ

第一三野戦航空修繕班、第二二野戦航空修繕廠

0888

18/5 一、第十四軍戦闘序列より除き第十七軍戦闘序列に編入する部隊

第四四固定無線隊

二、第十四軍戦闘序列より除き第十七軍戦闘序列中の南海支隊編成に編入する部隊

野戦高射砲第四七大隊（二中隊缺）(乙)

第十四軍戦闘序列より除き第十七軍戦闘序列の編入する部隊

獨立速射砲第九中隊

野戦高射砲第四七大隊(乙)の一中隊

第三七固定無線隊

第二四野戦防疫給水部(乙)

19/5 別紙第一、第十四軍戦闘序列より除き關東軍へ

戦車第七聯隊

獨立工兵第三中隊（重渡河）

第十四軍戦闘序列より除き第三軍の編組に

獨立山砲兵第三聯隊

獨立重砲兵第二中隊(甲)
 第十四軍戰團序列より除き第四軍の編組
 第一砲兵司令部
 野戰重砲兵第一聯隊(甲)
 獨立重砲兵第九大隊(戊)
 砲兵情報第五聯隊
 獨立工兵第二三聯隊(戊)
 第三牽引自動車隊

0890

別紙

第十四軍戦闘序列より除き復員管理官の指揮下に入る部隊

野戦重砲兵第八聯隊(乙)

氣球第一中隊

第一手押輕便鐵道隊

獨立輜重兵第五一中隊

野作井第六中隊

0891

$1Fe$ / 中, - 2大 (~~中~~) 2中
 $6O$ / +, (4中 3中)
 $3P$ / (3中)
 $23P$ / (4中)

三
次
修
訂

二、

[illegible]

21/4

有子...
T/FAD
7/10/83
...
...
...

62/7
90/7
91ab

1946 1948

11.	10
20.	28

0895

正
修正ス

控

比島第一期作戦兵力表（修正）

昭和二年九月一〇
復員局資料整理部
昭和二年九月一〇修正（杉田大佐修正せり）

595
4.86
1021

部 隊 名	兵 力	備 考
第十四軍司令部	五七三	本表は元第十四方面軍參謀長元陸軍大佐青島良一郎作製す
車 直 部 隊	五八五	本表兵力は各年度の動員兵力表（昭和二十一年三月十五日第一復員局製）に據り一部同表に無きものは推定により算出す
兵 站 部 隊	二〇七	本表に示す部隊は比島作戦記録第一巻に據る
第 四 師 團	一、〇八六	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第五師團の一部	三、五五二	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第十 六 師 團	一、四六四	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第十八師團の一部	三、六一四	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第二十一師團の一部	三、二七七	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第四 十 八 師 團	一、三九八	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第五十六師團の一部	四、五〇〇	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
第六十五旅團	七、七二八	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し
合 計	一、一五、八三六	四軍直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の二其の二の如し

一、一五、八三六

七、七二八

0896

部	隊	名	兵力	部	隊	名	兵力
獨立速射砲	第三中隊		五五三	獨立工兵	第二十一聯隊(戊)		七〇〇
同	第八、第九、第十中隊		一〇五九	鐵道	第六聯隊(一大隊缺)		一七〇八
戰車	第四聯隊		四三七	電信	第一聯隊		二二六五
戰車	第七聯隊		四九	獨立無線	第五小隊		二二
野戰重砲兵	第一聯隊		一七六三	同	第三、第四、第五、第六小隊		一三八
同	第八聯隊		二七七五	第四十固定	無線隊		二六
獨立重砲兵	第九大隊		六二四〇	第一、第二、第三、第四	固定無線隊		七八
野戰高射砲	第四、五、六、七、八大隊		一四四四	架橋材料	第二六中隊		四一〇
獨立高射砲	第三十中隊		一七九	同	第二八中隊		四一〇
同	第三十一中隊		一七九	渡河材料	第十三中隊		二二〇
獨立臼砲	第十五大隊		四四八	同	第十四中隊		二二〇
獨立工兵	第三聯隊(甲)		一〇五五	第一揚陸團司令部			四〇
同	第三中隊		五〇〇	獨立工兵	第六聯隊(丁)		二二〇

0897

第百三十三
第百三十三
停車場司令部

兵 站 部 隊

部 隊 名	兵 力	部 隊 名	兵 力
第六十一兵站地協隊	二〇二	陸上勤務第百十中隊	五二一
第六十三兵站地協隊	二〇三	同 第百二十四中隊	五二一
第三野戰輸送司令部	五七	建築勤務第三十六中隊	五二一
獨立自動車第三十八大隊	八〇八	同 第三十七中隊	五二一
同第六十二、第六十三大隊	一六二六	水上勤務第六十中隊	五二一
獨立自動車第二百九中隊	一八五	第十七兵站衛生隊本部	一五〇
同第二百十、第二百五十八中隊	五八六	第十六兵站病院	五五九
同第二百五十九、第二百六十中隊	五八六	第七十五、第九十六、第百兵站病院	一〇七
獨立輜重兵第五十一中隊	四四〇	第十患者輸送隊本部	一一七
第三十八野戰道路隊	五〇四	患者輸送第三十八小隊	五四
第三十九野戰道路隊	五〇四	同 第五十三、第五十四小隊	一〇八
野戰作井第六中隊	一一九	第十六兵站病屬廠	五五八
第十二野戰勤務隊本部	一七	第十七軍屬防疫廠	一五七

0899

		✓ (3)	✓ (3)	✓ (3)	✓ (30)	✓ (32)	✓
第八防疫給水部	第五十九	第五十九	第七十八	第七十八	第七十八	第七十八	第七十八
第二十五野戦防疫給水部	小計	計	計	計	計	計	計
第十六野戦郵便隊	合	計	計	計	計	計	計
第二十二野戦兵器廠	計	計	計	計	計	計	計
第二十二野戦貨物廠	計	計	計	計	計	計	計
第二十二野戦自動車廠	計	計	計	計	計	計	計
小計	計	計	計	計	計	計	計
隸指部下部隊へ配屬せるもの	備考 配屬部隊中には航空部隊に配屬せるものを含む						
第三海上輸送監視隊	第七	第七	第七	第七	第七	第七	第七
第一手押輕便鐵道隊	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
陸上勤務第百一、第百二、第百四、第百五、第百六、第百八中隊	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
建築勤務第百六十八中隊	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
建築勤務第百五十中隊	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
水上勤務第三十九、第五十八中隊	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

0900

〇 〇 〇

目次

- 一、第一期比島作戦日本軍兵力表
- 二、同右 主要部隊兵力表
- 三、航空部隊兵力表
- 四、軍直部隊兵力表
- 五、兵站部隊兵力表
- 六、抽出兵力表
- 七、増加兵力表

陸
軍

0901

一、米國の世界政策特に極東政策の推移とその将来

一、日本赤化問題

本館印

國家の教育の要諦と其の力の限界

一、國防軍の増強と建設の手段

移動

移動

✓ 6/FFD
✓ 4FB
50FM(-1P)
8FM
14FM
✓ 1FTL(-1P)
✓ 3航路
4航路
11航路
4航路
24AD
28AD
9航路
移動/9航

298品
移動123
入田中

24F — 1000へ

10航路
52C
74C
76C
✓ 3/50FM
16FM
-7/1FTL

✓ 11航路
✓ 48AD
✓ 18AD
✓ 13AC
✓ 32AC
✓ 1航路
40AA

297品
移動111
移動56

22品

32C
✓ 62FO
✓ 60FO
✓ 76AD
✓ 8AC
✓ 2航路
✓ 3航路
84品

0903

○ 山口支所

○ 河井支所

○

0904

0000

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

控

22.169. 35-777

比島第一期作戦兵力表(修正)

昭和二年九月一日
復員局資料整理部
昭和二年九月一日
修正

部 隊 名	兵 力	備 考
第十四軍司令部	五七五	本表は元第十四方面軍參謀長元陸軍大佐青島良一郎作製す
車直部隊	六六〇	本表兵力は各年度の動員兵力表(昭和二十一年三月十五日第一復員局製)に據り一部同表に無きものは推定により算出す
兵站部隊	一、二〇八	本表に示す部隊は比島作戦記録第一巻に據る
第四師團	一、二〇八	四車直部隊及び兵站部隊の細部は別紙其の下其の二の如し
第五師團の一部	一、二〇八	兵第大、第二十、第五十六師團の各一部兵力は車隊區分に依る推定兵力とす
第十六師團	一、二〇八	
第十八師團の一部	一、二〇八	
第二十一師團の一部	一、二〇八	
第四十八師團	一、二〇八	
第五十六師團の一部	一、二〇八	
第六十五旅團	一、二〇八	
合 計	一、二〇八	

0905

車直部

部

独立工兵第三中隊

五

部	隊名	兵力	部	隊名	兵力
獨立速射砲第三中隊		五五五	獨立工兵第三聯隊(甲)		一〇五五
同 第八、第九、第十中隊		一〇五九	同 第二十一聯隊(戊)		五四九
戰車第四聯隊		四三七	鐵道第六聯隊(一大隊缺)		一七〇八
戰車第七聯隊		六四九	電信第四聯隊		二五八五
野戰重砲兵第一聯隊		一七六五	獨立無線第五小隊		三三
同 第八聯隊		? 一七七五	同第五、第五二、第五三、第五四小隊		一二八
獨立重砲兵第九大隊		六二二	第四十固定無線隊		二六
野戰高射砲第四大隊		五二二	第四、第四三、第四四固定無線隊		七八
同第四五、第四七、第四八大隊		一五五五	架橋材料第二六中隊		四一〇
獨立高射砲第三十中隊		一七九	同 第二八中隊		四一〇
同 第三一中隊		一七九	渡河材料第十三中隊		二二〇
獨立臼砲第十五大隊		六四八	同 第十四中隊		二二〇

0906

~~1894~~

第一揚陸團司令部	?	40	獨立山砲兵第二十八大隊	?	443
獨立工兵第六聯隊(丁)	?	1006	野戰重砲兵第二十大隊の一中隊	?	500
同 第十、第二八聯隊(丁)	?	2012	第一砲兵司令部		122
船舶高射砲第二聯隊		1558	重砲兵第一聯部		1201
船舶通信聯隊の1/8		250	獨立重砲兵第二中隊		180
第三船舶工作廠	?	200	砲兵情報第五聯隊		765
第四四礮泊場司令部		69	追撃第三大隊		963
第五二礮泊場司令部		69	獨立白砲第二大隊		648
第一野戰憲兵隊	?	179	獨立白砲第十四大隊		648
小計		3280	第二固定通信隊		26
軍直部隊増加隊			獨立工兵第二三聯隊(戊)		1684
第十獨立守備隊		3833	獨立工兵第二六聯隊一中隊	?	200
獨立山砲兵第三聯隊		2531	合計		5711

備考「?」は他の同種部隊を参考とする推定力

~~13363~~

0907

兵 站 部 隊

部 隊 名	兵 力	部 隊 名	兵 力
第六十一兵站地區隊	二〇八	第十二野戰勤務隊本部	一七
第六十三兵站地區隊	二〇三	陸上勤務第百十中隊	五一
第三野戰輸送司令部	三七	同 第百二十四中隊	五一
獨立自動車第三十八大隊	八〇八	建築勤務第三十六中隊	五一
同第六十二、第六十三大隊	一六一六	同 第三十七中隊	五一
獨立自動車第二百九中隊	一八三	水上陸務第六十中隊	五一
同第二百十、第二百五十八中隊	三六六	第十七兵站衛生隊本部	一二〇
同第二百五十九、第二百六十中隊	三六六	第二十六兵站病院	五五九
獨立輜重兵第五十一中隊	四三〇	第七十五、第九十六、第百兵站病院	一〇七七
第三十八野戰道路隊	三〇四	第十患者輸送隊本部	一一七
第三十九野戰道路隊	五〇四	患者輸送第三十八小隊	五四
野戰作井第六中隊	一一九	同 第五十三、第五十四小隊	一〇八

0908

第十六兵站病馬廠	五三八	第一手押輕便鐵道隊	一〇〇〇
第十七車馬防疫廠	一三七	陸上勤務第百一第百三中队	一五七
第八防疫給水部	五二九	同 第百十下第百十二三中队	一〇二
第二十五野戰防疫給水部	五二九	建築勤務第五十中队	五一
第十六野戰郵便隊	二五一	同 第五十本 第六十八中队	一〇二
第二十二野戰兵器廠	一一九七	水上勤務第三十九、第五十八中队	一〇二
第二十二野戰貨物廠	九八八	第六十、第七十、第百十六兵站病院	一〇七
第二十二野戰自動車廠	一四二四	小計	一〇七
小計	一四五三九	合計	一〇七
隷指揮下部隊へ配屬せるもの			
獨立自動車第百九十七中队	一八八		
同 第百九十八中队	一八八		
第三海上輸送監視隊	七七		

備考 配屬部隊中には前記部隊に配屬せるものを含む

22169 7.3.80

0909

中興行集團 地產服務系列

中央銀行

中二八三二四〇六八九七三八

和生通元所製

中三秋室情銀隊9一節

牛一物送石

中比九鄉式 馬仔場滿堂

中土野放林壑廊下

野坡高坡坡口口口

此自即年四月七

隨上切務元二、中二三、

建寧初稿 五古中稿

<http://www.jacar.go.jp>

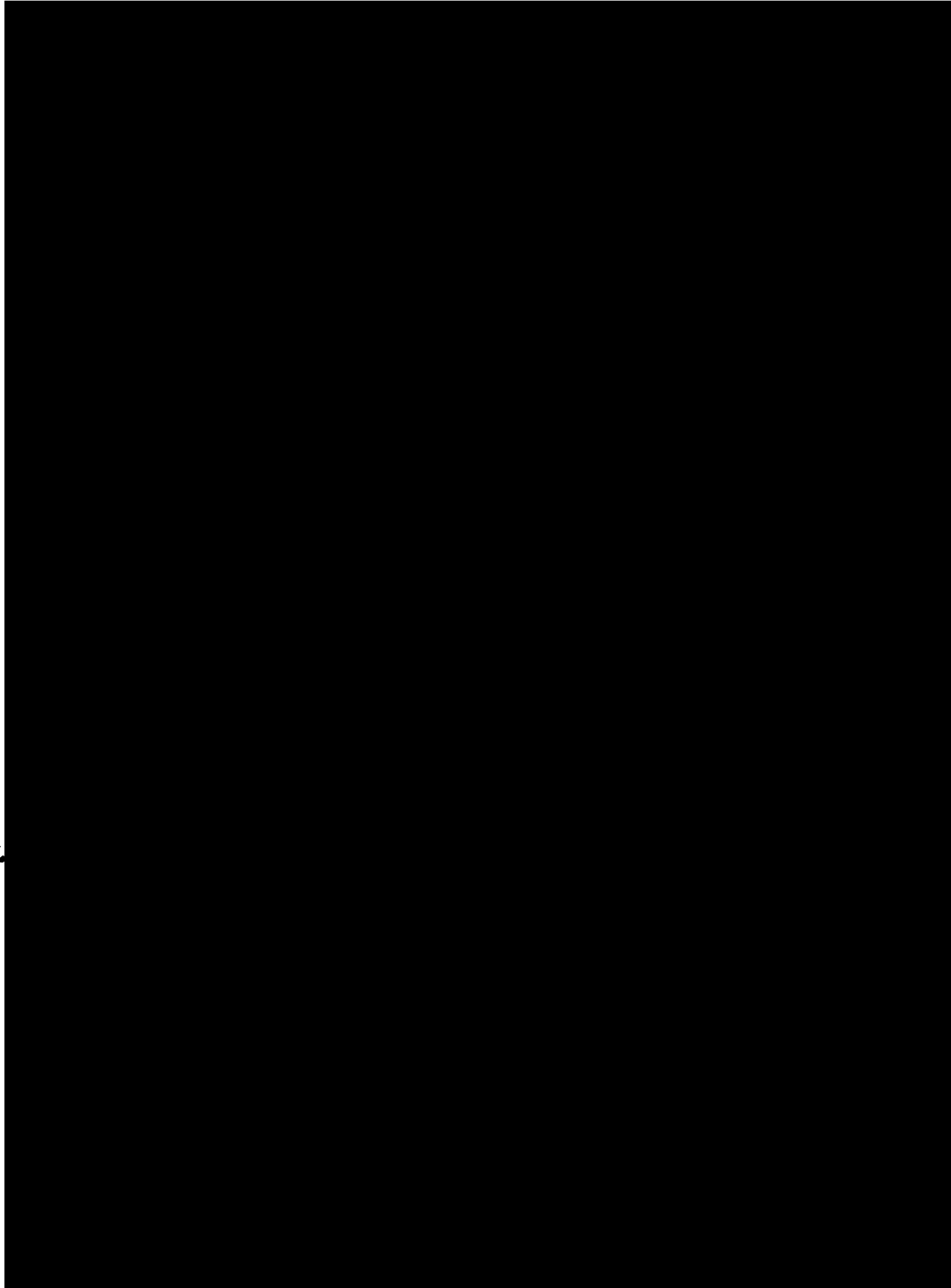
拳停

1. 復字

一、本表の、ハシ、島、作、臨、直、接、を、加、え、る、と、三、つ、
ミ、多、地、上、動、物、や、な、ま、等、直、接、戦、闘、に、従、事、せ、ら、る、り、合、ん、と、
二、本、表、の、其、島、飲、水、の、水、は、休、か、一、船、の、表、を、入、二、路、水、に、

$$\begin{array}{r} 246 \\ 4 \overline{) 985} \\ \underline{8} \\ 18 \\ \underline{16} \\ 25 \end{array}$$

1.)

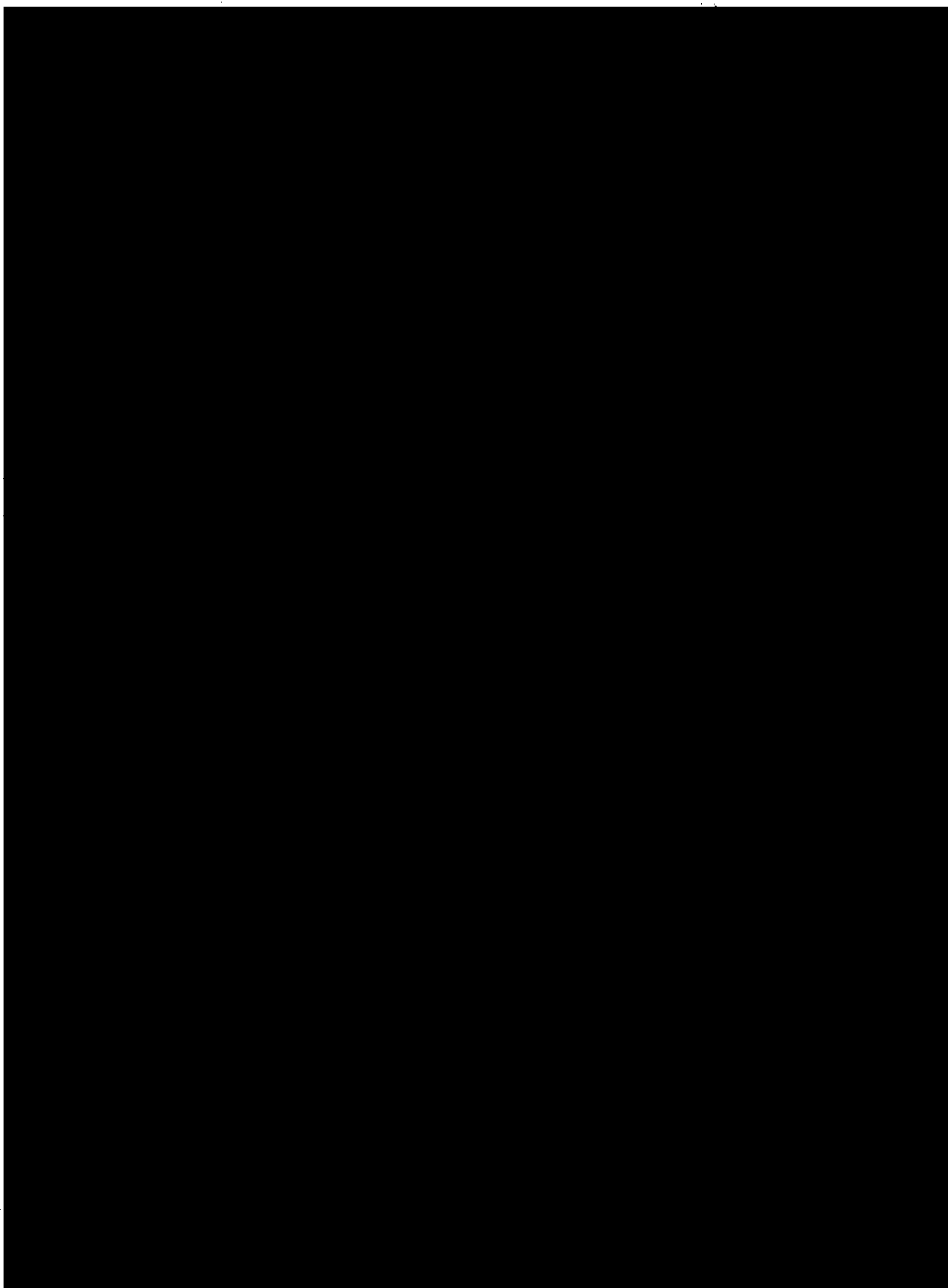


0913

0100

0914

2).



0915